

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
令和1年度事業報告書
(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

I 公益事業

1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) コンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向けた新規広報ツール、スマートフォン向けのコンサート情報アプリ「チラシクラシック」については、運営事務局を賛助会員のイープラス社内に置き運営を行っている。令和1年度の運営概要報告は以下のとおり。

※事業名 チラシクラシック

対象期間	平成31年4月～令和2年3月までの一年間の運営報告(開始日平成30年10月25日)
運営主体	日本クラシック音楽事業協会
運営事務局	チラシクラシック運営事務局(株式会社イープラス内に設置)
内容	観客の高齢化が進むクラシック界において、新たなる観客(特にライト層や若年等)に向けた情報提供活動として、いつでもスマートフォンから全国で実施されるクラシックコンサートのチラシが無料で閲覧できるサービス。 ・インストール数: 7,719(+2,145) ・掲載チラシ総数: 1,475 ・主催者数: 266団体/280名 ・1日当りの掲載公演数: 5,75 ・平均チラシ掲載期間: 34.07日 ・セッション数: 39,671(アプリの起動数) ・スクリーン数: 440,710(画面数) ・セッション別: 11.11(1回平均画面数) ・平均セッション時間: 03分36秒(1回あたりの利用時間)

(2) 「スマイル&ハーモニーキャンペーン」の準備

クラシックコンサートの鑑賞マナー向上に向けて、協会で作成したマナー向上のハンドブックを活用して「スマイル&ハーモニーキャンペーン」については、開催準備中に新型コロナウイルス感染症によるイベント自粛要請を受け、キャンペーンの展開は次年度以降に見送る事とした。

(3) STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019 への協力

クラシック音楽に対する敷居を下げ、裾野を広げる活動として、協会賛助会員のイープラスが昨年度より取り組む、屋外での新たなクラシックフェスティバルの開催に協会として協力実施した。

事業名 STAND UP! CLASSIC FESTIVAL 2019
期日 令和1年9月28日(土)29日(日)計二日間
会場 横浜 赤レンガ倉庫特設会場
観客動員数 二日間10,000人 出演者総数約500人

2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) 令和1年度は(2)に記載のガイドライン策定に傾注する為、会員研修会は開催しなかった。尚、経営懇談会及び女性部会については各種事業の実施、及び次年度以降実施予定の調査研究や普及活動へ連動させる事として招集しての実施はしなかった。

(2) クラシック音楽業界における公演中止や延期、キャンセル対応等の事例を取りまとめ協会としての「ガイドライン」の策定に向け、過去に実施した会員研修会のデータを取りまとめるべく、協会外部の有識

者の協力を経て、骨子を取りまとめて報告した。尚、次年度に向けてガイドライン策定委員会を立ち上げて、完成版を策定予定である。

3、アーティスト連携事業（定款第4条第1号関係）

(1) 地域創造連携事業

○公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として登録演奏家のプレゼンテーションの実施を受託した。

※令和1年度公共ホール音楽活性化事業（全国12地域〈発展継続プログラム含〉で実施）

※令和1年度登録アーティストによるプレゼンテーション

8人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。
平成31年4月23日（火）／会場：HAKUJU HALL（代々木）

※令和2・3年度を登録期限とするアーティスト選考会の実施、並びに新規登録アーティストへの集合研修及び実地研修の実施。

【第一次選考会（音源・書類審査）】令和1年5月20日（月）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】令和1年6月17・18日（月・火）／会場：トッパンホール
集合研修 令和1年10月8・9日（火・水）／会場：地域創造会議室

実地研修 令和2年1月28日～2月27日の期間 東京都町田市、静岡県菊川市、茨城県日立市

○公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ支援）

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールとOB・OGアーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。おんかつ事業と同様に同財団からの受託事業として登録アーティストのプレゼンテーションを開催するとともに、令和1年度は（全国13地域〈発展継続支援プログラム含〉）で実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

当協会会員社所属の全99人（組）の登録アーティストのうち、53人（組）によるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

令和1年7月30日（火）・31日（水）／会場：東京芸術劇場 B2F リハーサル室

○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業である本事業は、アウトリーチの実施部分を文化庁の支援、コンサート部分の支援を地域創造のスキームで実施し、今年度は全国8地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

○公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（フォーラム）

都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業の秋田県公演について、アーティスト派遣に関するマネジメント業務を実施するほか、令和2年度長野県セッションの実施に向けた派遣アーティスト（アンサンブル）の選考会を行った。

※秋田セッション（秋田県の4つの自治体に今年一年をかけて二組のアンサンブルを派遣した）

※長野セッション派遣アーティスト選考会（事業の実施は令和2年度）

【第一次選考会（音源・書類審査）】令和1年11月15日（金）／会場：地域創造会議室

【第二次選考会（実技・面接審査）】令和1年12月4日（水）／会場：昭和音楽大学北校舎

4、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド2019-2020を、令和1年6月末日に発刊すると共に、次回の発刊に向けて情報の収集作業を行なっている。

「クラシック音楽事業ガイド2019-2020」

発行予定 令和1年6月末日 1,500部 定価本体952円+消費税別

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会 編集委員長 徳永英樹

※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として協会活動の報告や各種情報等を掲載し、併せて協会加盟会員を記載して発行した。又発行部数は各号600部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル：広報誌「ポンプ&クラシックス!」/ 発行人：入山功一 / 編集人：徳永英樹・堤正浩

第24号=5月末発行、第25号=9月1日発行、第26号=11月末発行、第27号=2月末発行

又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

(2) JAPAN CLASSIC NAVI (ホームページの運営管理)

協会のオフィシャルウェブサイト (JAPAN CLASSIC NAVI) の運営については、協会の実施する様々な事業紹介をはじめコンサートや研修会、オーディション等の最新情報の他、音楽文化振興事業等の社会的取り組み等も紹介し、クラシック音楽の振興・普及に努めている。尚、メディアと連携した共同広報事業についても、効果的なメディアの検討や、コンサートの映像配信等について検討を行っている。

5、音楽文化振興事業 (定款第4条第2項関係)

(1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体21団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟 (会長河村建夫元文科大臣) と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、文化芸術振興基本法や劇場法等の理念の浸透、啓発、政策提言等の活動を行っており、令和1年度は以下の活動等を当協会も参画して実施した。

※文化芸術省の創設に向けた活動

「五輪の年には文化芸術省」実現に向けた決議を採択し文芸議連と共に社会に対してアピールした。

※文化芸術省創設の骨子となる政策課題についての研究を実施

国立劇場の機能拡充について 10月16日 (水)

芸術教育の充実についての勉強会 11月20日 (水)

文化芸術団体への助成について 11月27日 (水)

※国会芸術祭を開催

国会における文化芸術振興の機運を更に高めることを目指し、憲政史上初めてとなる「国会芸術祭」を開催し、推進フォーラムの野村議長の決意表明や、フォーラム参加団体による様々なパフォーマンスが披露され、最後は国会議員合唱団による素晴らしい歌声が披露された。

10月15日 (火) 会場 星陵会館

当協会からは会員の協力により、クラシック音楽を代表してピアニストの上原彩子さんとソプラノの佐藤美枝子さんのお二人による「チャイコフスキー国際コンクール優勝者による共演」と題したコンサート提供を行った。

※文化芸術の灯を絶やさぬよう政府に提言

新型コロナウイルス感染拡大対策として、文化芸術に関わる各種イベントの中止、延期等に伴い、

臨時会合を開催し議員連盟と共に「緊急決議」を採択し萩生田文科大臣、西村新型コロナ対策担当大臣、菅内閣官房長官に対して提出した。

(2) 音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第11回夏の研究会（基調講演とパネルディスカッション）

[地域が創る音楽芸術の潮流～文化の発信を支える柔軟な思考と多様なコミュニケーションを考える]

令和1年8月3日（土）会場：名古屋音楽学校・ホール

※第12回冬の研究大会（各種研究報告とシンポジウム）

シンポジウム「変わる音楽教育の現場から～学校における芸術教育を考える」

令和1年12月5日（日）会場：東京音楽大学池袋キャンパス

※新型コロナウイルス感染症拡大による舞台芸術分野への影響について文化庁長官宛に要望書を提出。

6、国際交流事業（定款第4条第2項関係）

(1) FACP（アジア文化芸術交流促進連盟）2019、第37回年次総会 [マニラ] の開催

FACPの年次総会にあたり、協会から茂田雅美会員（FACP前会長）はじめ、福田会員（FACP日本事務局長）、下八川副会長、中尾国際担当理事、佐藤理事、堤理事、二瓶理事等多くの会員が参加した。

※第37回FACP2019年次総会 in マニラ

会期 2019年9月18日（水）～20日（金）

会場 Cultural Center of the Philippines

主催 FACP (Federation for Asian Cultural Promotion)

7、企業イベント制作事業（定款第4条第3項関係）

(1) 宝くじ文化事業

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間11回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間11回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、東京の全11回の合計来場者数は約4000人。又、大阪の全11回の合計来場者数は約3000人。

宝くじドリーム館東京・大阪 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの開催

東京ドリーム館は8月を除いて原則毎月第三水曜日の12:00 ランチタイムに開催。

大阪ドリーム館は8月を除いて原則毎月第三木曜日の16:00 トワイライトで開催。

[出演者の所属会員]

アスペン、1002、コンサートイマジン、ジャパン・アーツ、東京コンサーツ、二期会21、

日本オペラ振興会、ノジリスタジオ、ミヤザワ&カンパニー、パシフィックコンサートマネジメント、

プレルーディオ、プロ アルテ ムジケ、ミリオンコンサート協会 他

尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。又、年度末の3月開催については新型コロナウイルス感染症によるイベント自粛要請を受け、関係者のみのクローズド公演として実施した。

※年末ジャンボ宝くじ抽せん会アトラクションの制作

年末ジャンボ宝くじでは12月31日の抽せん会後のアトラクションにて昨年に引き続きクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が公演制作の全てを受託した。来場された多くの宝くじファンに対して、クラシックコンサートの魅力をアピールする音楽普及活動を行なった。

12月31日（火）抽せん会 10:45 開場/11:00 開始（アトラクション 14:00 開始）

東京オペラシティコンサートホール
[出演者の所属会員] AMATI、ジャパン・アーツ、日本オペラ振興会

II 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況（令和1年度）

1、会議等の開催、委員会の報告

○総会

定時会員総会 6月14日（金）14時00分 東京・渋谷区 FORUM8 5F 511会議室

○理事会

第1回定例理事会 5月23日（木）13時30分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント

第2回定例理事会 10月10日（木）14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント

第3回定例理事会 1月9日（木）13時00分 東京・渋谷区 eplus LIVING ROOM CAFE&DINING

第4回定例理事会 3月12日（木）14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント

緊急理事懇談会（第1回） 3月4日（水）14時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

緊急理事懇談会（第2回） 3月23日（月）13時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○執行役員会（会長・副会長・専務理事・常任理事）

第1回執行役員会 1月9日（木）11時30分 東京・渋谷区 eplus LIVING ROOM CAFE&DINING

第2回執行役員会 3月12日（木）12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○統括執行役員会（会長・専務理事・常任理事）

第1回統括役員会 5月23日（木）12時00分 東京・渋谷区 協会事務局会議室

第2回統括役員会 9月28日（土）10時00分 神奈川・横浜市 赤レンガ倉庫・喫茶店

○マネジメント部会

クラシック音楽普及事業の（1）（3）、に記載の活動を推進している。

○ホール部会

音楽関連人材育成事業の（2）、と連携し、ホールの影アナウンスに関するアンケート調査を分析する他、緊急時の対応策等を「ガイドライン」と連携させる検討をする他、クラシック音楽普及事業の（2）とも連携して「スマイル&ハーモニー事業」に向けたマナー普及に関わる活動を検討している。

○教育・創造部会

音楽文化振興事業の（2）、に記載の活動を推進している。

○メディア部会

情報収集発信事業の（2）に記載の活動を推進している。

○オペラ部会

加盟会員のオペラ三団体と連携し、オペラ団体の会員拡大や声楽のコンテンツ開発に取り組んでいる。

○関西地区連絡協議会

関西地区会員は今年度の計3回の協議会及び懇親会を開催した。

※ 5月18日（土）17時30分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホール 会議室

参加者 関西地区会員、協会役員含 計13名

内容 令和1年度の活動方針と運営方針、関西の芸術文化振興に向けた協会の提言について

※12月3日(火)16時00分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホール 総監室

参加者 関西地区会員、協会役員含 計14名

内容 関西のクラシック界を盛り上げてゆく為の施策について

※2月26日(水)15時00分 大阪・北区 ザ・シンフォニーホール 会議室

参加者 関西地区会員、協会役員含 計18名

内容 令和1年の振り返りと令和2年に向けて

～関西のクラシック界の振興発展に寄与するクラシック協会を目指して

2、会員・役員の移動状況報告

令和1年度の会員数

	平成31年4月1日	令和2年4月1日	増減
正会員A	6	6	0
正会員B	30	29	-1
正会員C	10	13	+3
賛助会員	43	45	+2
名誉会員	0	0	0

入会者: 正会員C=株式会社日本アーティスト、株式会社ラプトサウンド、
株式会社Eアーツカンパニー、株式会社ミヤザワ&カンパニー

賛助会員=公益財団法人日本室内楽振興財団、ワキタコルディアホール、
特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団

退会者: 正会員B=株式会社ブライトワン

正会員C=株式会社オカムラ&カンパニー

賛助会員=上野学園石橋メモリアルホール

令和1年度の役職員数

	平成31年4月1日	令和2年4月1日	増減
理事	15	17	+2
監事	3	2	-1
顧問	2	3	+1
参与	3	2	-1
職員	2(役員兼務1名含む)	2(役員兼務1名含む)	0

理事の増員と監事の減員、令和1年度定時会員総会にて理事2名増員し監事1名減員
理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

3、心の復興音楽基金の活動

東日本大震災の被災者支援の一環として協会内に設置された「心の復興音楽基金」の活動は、運営委員会(委員長:加藤哲礼)により、基金の趣旨、支援規程等に沿い、支援活動の公募を行い、令和1年度については、以下の5事業に総額1,060,000円の支援を行った。尚、令和1年度の支援を以って当基金の残額が終了する事から、今回の支援の助成金の支払完了を持って当基金の活動を終了する事となった。

※支援先・支援額(申請額)一覧 ※実施順

- ・逢えてよかったね 友だちプロジェクト 7月27日~29日 気仙沼市での支援コンサート 300,000円
- ・学校法人東北文化学園大学 12月1日 仙台市での第九支援コンサート 190,000円
- ・セヶ浜国際村事業協会 12月17日~19日 セヶ浜での支援アウトリーチ 190,000円
- ・一般社団法人ブラームスホール協会 2月16日 名取市での支援コンサート 190,000円

・株式会社ジャパン・アーツ 3月7日 被災地の高校生出演のチャリティコンサート 190,000円

4、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

(1) 関係団体との連携（事業を取り巻く環境変化に伴う取組み等）

・チケット適正流通協議会の活動について

平成31年12月8日に成立したチケット高額転売規制法（略称）が令和1年6月14日に施行された事を受け、チケット適正流通協議会に加盟して、関係団体と連携し、チケットの適正な流通に向けて様々な活動を推進している。令和1年度は9月の運営委員会にて入会が承認され第3回の運営委員会より参加している。

第3回 10月25日（金）転売禁止法初の書類送検について、転売事業者の情報共有等

第4回 12月3日（火）特定チケット対応公演-リスト化の進捗状況について

第5回 2月4日（火）特定チケット対応公演-セミナーの検討と月次フローについて

第6回 3月6日（金）新型コロナウイルスへの対応について

(2) 関係団体との連携・協力

- ・全国中小企業団体中央会（経済産業省・中小企業庁関係組織）に加盟して活動を推進している。
- ・文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。
- ・音楽産業文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に入山会長が就任し活動を推進している。
- ・仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

(3) 後援名義等の許可状況

令和1年度は以下の5事業について当協会として名義後援を行った。

申請者：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2019 運営委員会 事業名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2019

申請者：公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名：仙台クラシックフェスティバル 2019

申請者：株式会社ザ・シンフォニーホール 事業名：年越しスペシャルオールスター関西オペラ歌合戦

申請者：公益財団法人ロームミュージックファンデーション

事業名：スカラシップコンサート/奨学生向けアーティスト研修会

申請者：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 事業名：ピティナ・ピアノコンペティション

5、この法人の目的に適う事業

新型コロナウイルス感染症への対応と対策に向けた活動

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として令和2年2月26日、政府によるイベント中止・延期の自粛要請を受け、当協会では役員・会員が一丸となって、事業者の損失補填、実演家の所得補償等の要望書を政府に提出し、関係諸団体と連携して様々な対応を協議、実施している。その後4月7日には緊急事態宣言が全国に発出され、全ての社会経済活動が自粛、日常の生活にも様々な影響が生じている状況ではあるが、文化芸術活動は人々が社会生活を営む上で必須のものである事を信条とし、再開出来る日に向けて引き続き要望活動を展開すると共に、日本オーケストラ連盟や民間主要ホール等、クラシック音楽の公演に関わる関係団体等と連携して、公演の再開に向けたガイドラインの整備やロードマップの策定を進めている。

〈主な活動報告〉

3月4日（水） 新型コロナウイルス感染症対応・第1回緊急理事懇談会

3月6日（金） チケット適正流通協議会にてポップス等の諸団体との対応協議

- 3月10日(火) 経済産業省訪問 クラシック界の被害状況について説明
- 3月12日(木) 執行役員会、第4回定例理事会にて政府への要望書及び声明文の検討
- 3月13日(金) 公演での新型コロナ感染防止対策について医師との協議
- 3月16日(月) 経済産業省と文化庁に新型コロナに関する要望書提出
- 3月17日(火) 文化芸術振興議員連盟へ新型コロナに関する要望書提出、「新型コロナウイルスからライブエンタテインメントを守る超党派議員の会」に出席
- 3月17日(火) 声明文「クラシック音楽ファンの皆様および来日されるアーティストの皆様へ」を発表
- 3月23日(月) 新型コロナ第2回緊急理事懇談会 公演開催ガイドラインの協議
- 3月23日(月) 文化芸術振興議員連盟勉強会 政府提出の緊急決議内容の協議。
- 3月25日(水) 声明文「クラシック音楽ファンの皆様へ」を発表
- 3月27日(金) 「感染防止に向けた公演実施ガイドライン」を策定
- 3月30日(月) 公演中止の損害額調査・補償問題状況調査の実施

〈今後の活動方針〉

- ・4月以降についても、関係団体等と連携してイベントに特化した補償について要望を継続している。
- ・5月4日に緊急事態宣言が延長された事等から、既に政府より打ち出された対策のうち、雇用調整助成金の適用枠の拡大、持続化給付金のイベント特別枠の設定、東京都感染拡大防止協力金の適用等の活動を実施している。
- ・第二次の要望に向けて、我が国の文化関係への補償の在り方が諸外国の政策等に比して、いかに貧弱かを論拠として示すべく、会員の協力を得て調査を実施している。
- ・5月4日の政府の専門家会議の提言を受け、事業の再開に向けたクラシック音楽の公演形態に特化したガイドラインの整備を、関係団体と協働で進めており、これらのガイドラインを踏まえたロードマップの策定を目指して活動している。